

Beyond KUSS , 2020 !!

卒業後のステージ 先輩たちの様子(その3)

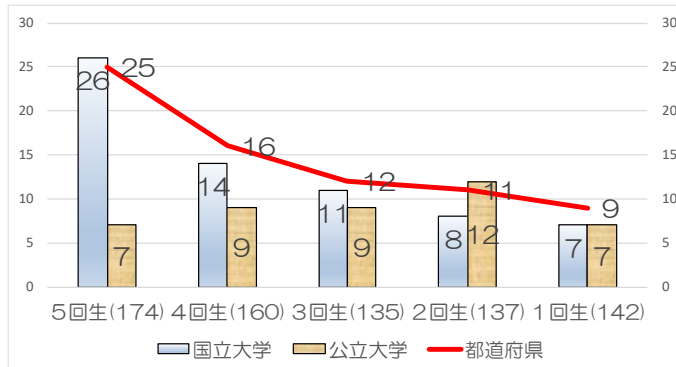
右のグラフは国公立大学合格者に関するデータをもとに作成しています。合格者のいる国立大学数，公立大学数，合格者のいる国公立大学が位置する都道府県数を示しています。

5回生の国公立大学合格者数は4回生より9名増加しています。合格者のいる国立大学は12校増加し，公立大学は2校減少し，合格者のいる国公立大学は10校も増加しています。

合格者のいる国公立大学が位置する都道府県数は，4回生より9県増加し25都道府県になりました。5回生は全都道府県の過半数を超える都道府県の国公立大学に合格しています。1回生の9府県と比較すると3倍近くまで増加しています。5回生で初めて国公立大学合格者があった都道府県は5県です。この状況に対する評価は次のようになります。

生徒が一途に「第1志望」に出願した結果，大学及び所在都道府県の多様化が進行した。あるいは，生徒が「第1志望」よりも「合格する可能性が高い」出願を探し求めた結果，大学及び所在都道府県の多様化が進行した。前者は本校の出願指導方針に合致し，後者は異なります。いずれにせよ，出願の視野が広がったという点は評価できます。

6回生は「第1志望」をどのように設定するのでしょうか。まだ「第1志望」を十分に説明することができない人は，担任をはじめとする本校の先生方，家族と十分に相談しましょう。「志望力」安定をめざし，自身の「第1志望」を説明できるようになりましょう。これから直面する人生の岐路のうち，受験は努力が通じる可能性が高い，数少ない機会です。



卒業研究最終論文提出締切は来週末

卒業研究最終論文提出締切は，来週末13日(木)・14日(金)になります。すでに，18,000字の論文の提出は終わっています。前回提出した論文を修正・ブラッシュアップすることをめざしています。6回生にとっても非常に重要なポイントになります。中間考査終了で一段落している暇もなく，最終ステージに向かいます。

卒業研究は1年時から6年間継続する「Kobeポート・インテリジェンス・プロジェクト」(KP)の最終ステージです。7月3日の「卒業研究最終発表」がゴールです。本校が生徒に求める「考える力」を構成する「見つける力」・「調べる力」・「まとめる力」・「発表する力」の4つの力を育成するための重要な活動です。本校生が「既存の知(インテリジェンス)」を収集・分析し，「新たな知」を発信することをめざす活動です。本校卒業生にとっての共通体験であり，世代を超えて卒業研究について意見を交換することができます。

卒業研究は重要な「知の鍛錬」の場です。卒業研究を進めるなかで，論理的思考力・批判的思考力を身につけていきます。心身を十分に鍛えるとともに，「知」を十分に鍛える，これが神戸大学附属中等教育学校の教育の軸になります。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

『Beyond KUSS , 2020 !!』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。